

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



2005年10月4日

プルデンシャル生命保険株式会社

思い入れの地、長崎に支社開設

10月11日より本格営業開始へ

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼最高執行責任者 三森裕）は本日、全国で80番目となる営業拠点、長崎支社を10月1日に新設、11日より本格的な営業を開始すると発表しました。長崎県下では初めての拠点となり、都道府県単位で見ると九州では福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県、佐賀県に次ぐ6県目での拠点開設となります。

長崎支社の新設は、弊社の重点施策である主要地方都市への積極的な進出を柱とする営業戦略の一環として決定したものです。

弊社は長崎支社の開設により、全国を80の拠点によって網羅することになりますが、大都市圏と地方での支社分布は6大都市圏（注1）に37支社（構成比46.3%）、主要地方都市に43支社（同53.8%）の割合となっています。

これを、保有契約高で見ると、各々39.8%、60.2%の割合となっており、また過去5年間の保有契約高の伸長率で見ますと、平均で各々11.1%、13.4%となるなど、地方都市が6大都市圏を凌駕する状況にあります。

ところで、長崎支社開設の理由としては①支社開設前において既に約9,300件の保有契約（保有契約高は764億円）を有しており、既存の支社からでは、サービスの十分な提供が難しくなってきたこと、②（注2）長崎県の人口は全国26位と中位に位置し、また人口密度が全国15位と九州地域で見ると福岡に次いで2番目に高いため、効率的に潜在的な死亡保障の需要開拓が見込めること、③新支社開設に当たって優秀な管理職の確保が整った——などが重要な決め手となりました。

ちなみに長崎県は創業者である故坂口陽史^{きよふみ}会長（2002年逝去）が育った地（佐世保市）であり、弊社にとって思い入れのある特別な意味があります。

執行役員常務（営業統括本部長）の谷川武士は、「支社開設にあたって、市場の絶対規模やリクルート可能人口などの基準をクリアしているかどうかを重要な判定基準としていますが、最も重要なポイントは、支社の経営を任せられる人材が育成、確保されているかどうかによって決められます。優秀なライフプランナーの採用・育成に傾注し、長崎県における営業体制を盤石なものにしたいと考えています。当初は、数名からスタートして、1年以内に10数名程度の陣容を整えたい」と抱負を語っています。

（注1）6大都市圏とは東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、福岡の属する都道府県を指す。

（注2）「保険実務」誌 平成16年度都道府県別統計号による